

令和8年度 栄南中学校「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：33009

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

実態	「学ぶ力」	
	成 果	課 題
	◇校内研究主題を「人や学びがつながる指導方法の工夫」と設定し、学校全体で研修を進めてきた。その結果、札幌市共通指標において「人の役に立ててうれしいと感じることがある。」「人の役に立つ人間になりたいと思う。」という項目の肯定的回答が増加した。他者貢献の意識が向上したことは大きな成果といえる。	◇全国学力・学習状況調査結果において「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか」という設問の肯定的回答が全国平均を下回っている。指示に従う素直さはあるものの、自ら学びをコーディネートし自走していく力は十分に備わっていると言えないことがわかる。
	「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題	
	◇全国学力・学習状況調査結果において「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」と回答した生徒の割合が、全国平均を大きく上回っている。反面、「授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか」という項目では全国平均を下回る割合となっている。大人との関係は良好であるが、生徒同士の学び合いや協働に課題が残ると捉えられる。	

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

「自分に合った学び方」の習得

取組	課題探究的な学習の推進 に向けて	自主的な活動の充実 に向けて
	◇研究主題：インクルーシブ教育の推進と二期制を見据えた教育課程の編成に向けて - 多様な教育的ニーズに対応するための授業改善に取り組む 指示や板書の構造化 ICTの活用 ユニバーサルデザインの実現 学習方法や表現方法を選択できる課題設定 合理的配慮 グループ学習を通じた相互支援の促進 コーディネーターによる支援計画 - 評価の在り方を見直し 学習を長いスパンで捉え、指導と評価の一体化を図る	◇よりよい学年にするための各学年委員会の充実 ⇒学級及び学年の課題を、各学年委員会にて整理 ⇒学年協議会を中心に、自治活動によるよりよい学年づくり ◇よりよい学校にするための生徒会活動の充実 ⇒生徒会主導による、いじめ防止スローガンづくり ◇子どもが「～したい」を実現する行事の充実 ⇒部門別学校祭を通じた自己選択と意思の実現 ⇒合唱交流会を通じた異学年間交流
	「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICTの活用について	
	◇Chromebookを活用した、他者との意見交流 ⇒各種アプリケーションを活用し、自分の考えを絵や文章など様々な方法で表現し、他者の意見に触れる機会を増やす。 ◇生徒一人ひとりの特性や困り感、ニーズに合わせ、多様な表現方法を構築する ⇒ICTを活用し、インクルーシブ教育の更なる推進を目指す。	

<本プログラムの実行に向けて>

